



おもちゃ箱なご 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・午前中は児童が2名なので一人一人に丁寧に関わっている ・少人数の時間帯には安定した支援時間とコミュニケーションが確保されている	・長期休みや学校の振り替えで朝から忙しい時には臨時でバイトを検討している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・各部屋に職員を配置	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・清掃を行い匂いや衛生面に配慮している	・定期的に環境を点検して劣化しているところがないか確認する ・車内の清掃を定期的に行う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じてスペースを開放している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・モニタリング会議・朝の時間を利用して職員間の情報を共有 ・業務記録も利用	・記録化をもう少し強化したい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・アンケートや聞き取りで保護者の意見を収集	・回収率が悪いので早め早めに動く
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・定例会での意見交換・昼食時間のコミュニケーションの中から改善点を見つける	・意見が言いやすい雰囲気を作る
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・本社の職員に相談して改善策を出している	・外部の専門機関に評価してもらいたい機会を作りたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・社内外研修への参加を機会あるごとに促し実地している	・研修後の振り返りをしっかりルーティーンにして他の職員にも学びを共有する
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・支援プログラムを作成している	・最初の方は共有しているが定期的に見直し共有する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・個人のニーズに合わせたアセスメントを実地している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・職員間で情報を共有している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画を自由に見れるようにしている	・保護者とのモニタリングがある時は職員間で本人の様子を確認・改善点を共有する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の様子や保護者からの聞き取りを主としています	・標準化された検査や発達検査は事業所の方では行ってない(フォーマル)療育センターで行った検査結果を参考にしています
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			

供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員全員でプログラム案を共有している	・検討する時間を定例でミーティングする時間を確保する
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・季節や児童の状況に応じて調整している	・他の児童デイからの情報も共有して取り入れていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別のニーズを重視している 集団は保育園に戻り支援されている	・保育園との情報交換を密にする
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・支援開始前に職員間で役割分担を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・支援終了後記録を取っている	・他の職員が記録したものを読み返して不足分は書き足した方が良い
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・相談員を中心に定期的にモニタリングを行っている	・モニタリング頻度を児童によって見直したい
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・主に児童発達支援管理責任者が参加他の機関と支援内容を連携している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・話し合いが必要な児童に対し関連機関と話し合いの場所を持ち情報を共有している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・母親たちが支援センターの先生から受けたアドバイスを記録する様にしている	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7			・児童が通っている保育園との交流会の機会を作りたい
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・ラインや口頭・モニタリングの時に情報共有している	・職員が受けた情報を記録に残すことを強化する
保護者への	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・外部研修の資料は配布している	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に説明を行っている	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けるか。	7		・モニタリング会議の時に保護者の意見・希望をヒアリングしている	・時間が長くとれないため送迎のときの何気ない会話も活用する
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・支援計画書を提示して同意を得ている	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・電話やラインでは十分に対応が出来ない時は面談時間を確保している	・モニタリング会議以外で定期的に事業所の方でも面談する時間を作りたい
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	・2年に1回おもちゃ箱全体のクリスマス会を開催して父母の情報交換・兄弟交流をしている	・参加者が限定的になってしまう曜日設定を検討したい

説明等	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・時間を設け相談を受けている	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・活動内容や支援をSNSとお便りを定期的に発信している	・保護者からの意見をもっと反映させたい
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報管理基準を定め職員研修も実地している	・再確認の場を定期的に儲けたい
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・ラインや送迎の時に児童の様子を分かりやすく説明している	・発達の特徴に合わせて個別対応を強化したい
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	・住民との交流ができていない	・地域の行事を見学することから始めてみようと思う
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・各種マニュアル作成はしている職員には研修会があるが父兄に広くは周知されていない	・どのような形で父兄にマニュアルを周知していくのか職員間で考える ・マニュアルの再確認・実地
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・利用前に保護者から健康情報服薬情報を確認している	・情報をアップデートしていく（職員間で共有する）
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・医師からの話を父兄から聞き取りして対応方法を明確にしている	・常に情報を新しいものにしていく定期的に情報を共有する ・本人にも確認している
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全管理計画を作成して事故防止研修を実施	・新しい職員やパートの職員にも情報を共有する時間を増やしたい
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			・緊急連絡網や避難場所の案内をお便りに等で配布する
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		・研修会の確保
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・現在利用している児童にそのような行動はないと思っている	・万が一の対応について事前説明・同意を保護者に書面で取得する